2023年3月期　第２四半期
決算補足説明資料

2022年 10月31日（月）

ウェーブロックホールディングス株式会社
証券コード：7940
（東証スタンダード市場）

サマリー

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

■ 売上高　11,427百万円（前年同期比＋5.3%、上期予想比△4.8%）

- マテリアルソリューション事業は原材料価格高騰に伴う売価転嫁値上げや、今期より連結に取り込んだ（株）エイゼンコーポレーションの売上高計上等により前年同期比増
- アドバンストテクノロジー事業は主に自動車向け販売を行う金属調加飾フィルムが好調に推移するも、仕入れ販売を行うディスプレー用拡散板販売の不振により前年同期比減

■ 営業利益　448百万円（前年同期比△16.5%、上期予想比△0.3%）

- マテリアルソリューション事業は原材料価格の高騰により前年同期比マイナス
- アドバンストテクノロジー事業は金属調加飾フィルムの販売の好調と、下期に予定する一関工場の稼働停止に備えた備蓄製造により利益増加

■ 当期純利益　2,289百万円（前年同期比＋328.7%、上期予想比＋4.5%）

- 第1四半期において、クレアネイト（株）（旧：（株）ウェーブロックインテリア）の株式譲渡により特別利益2,528百万円を計上。これにより同社の全株式の譲渡完了
- 保有資産の売却に伴い、過年度計上した減損損失について回収可能性があると判断し、法人税等調整額（益）（繰延税金資産）69百万円を計上

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

2023年3月期第2四半期　決算概要

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計 (実績)	2023年3月期 第2四半期累計 (実績)	前年同期比 増減率	2023年3月期 第2四半期 累計予想 (7/29公表)	予想比	2023年3月期 通期予想 (7/29公表)	進捗率
売上高	10,847	11,427	+5.3%	12,000	△4.8%	24,400	46.8%
営業利益	537	448	△16.5%	450	△0.3%	590	76.0%
経常利益	701	655	△6.6%	570	+15.0%	710	92.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	534	2,289	+328.7%	2,190	+4.5%	2,240	102.2%
1株あたり当期純利益(円)[1]	54.55	271.35	-	259.61	-	265.53	-

1. 発行済株式総数から自己株式等を控除した期中平均株式数により計算しています。期中平均株式数は、2022年3月期第2四半期は9,789,770株、2023年3月期第2四半期は、8,435,849株です。

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

セグメント　売上高・営業利益

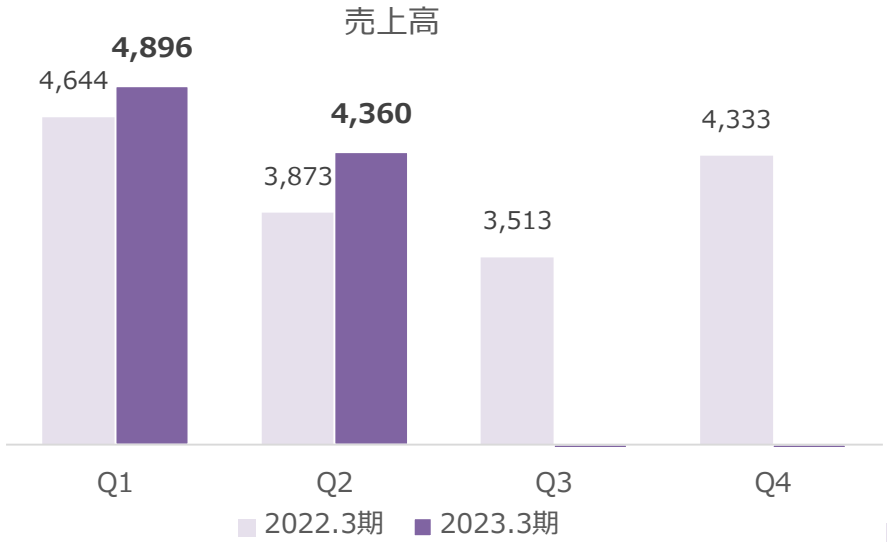
(単位：百万円)

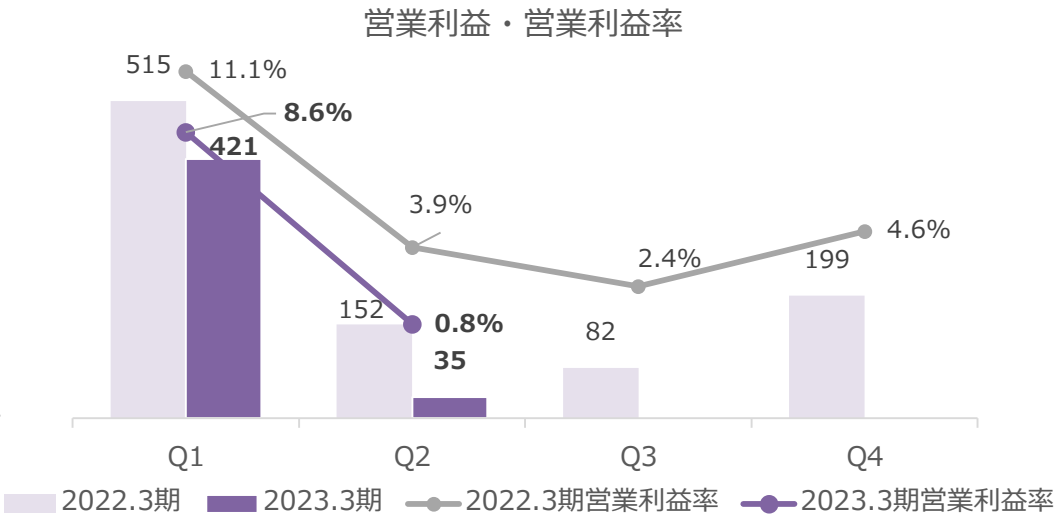
	2022年3月期 第2四半期 (実績)	2023年3月期 第2四半期 (実績)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	10,847	11,427	+579	+5.3%
マテリアルソリューション	8,517	9,257	+739	+8.7%
アドバンストテクノロジー	2,346	2,182	△ 163	△7.0%
その他	△ 16	△ 12	-	-
営業利益	537	448	△ 88	△16.5%
マテリアルソリューション	667	456	△ 210	△31.6%
アドバンストテクノロジー	206	339	+132	+64.3%
その他	△ 337	△ 348	-	-

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

セグメント概況（マテリアルソリューション事業）

単位：百万円





リビングソリューション：

- ホームセンター向け販売は一昨年の巣ごもり需要からの反動減に加え、ホームセンター自体の客足が伸びず、売上高、利益ともに前年同期比減

ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション：

- 建設・仮設工事向けにおいて、防音シートは買い替え需要により好調に推移するも、OEM生産への切り替え遅れや一部製品からの撤退、原材料価格上昇分の売価転嫁遅れより売上高減少。利益獲得も苦戦
- 一方、大型商業施設向けの防煙垂壁用高透明不燃シートは好調に推移

パッケージングソリューション：

- ヨーグルト容器向け販売の堅調や原材料価格上昇分の売価転嫁値上げにより売上高伸長も、利益においては原材料価格の高騰が値上げに追い付かず前年同期比大幅減。前期上市した業界初である植物由来のバイオマスプラスチック配合ミルクポーションは他食品包材へも展開

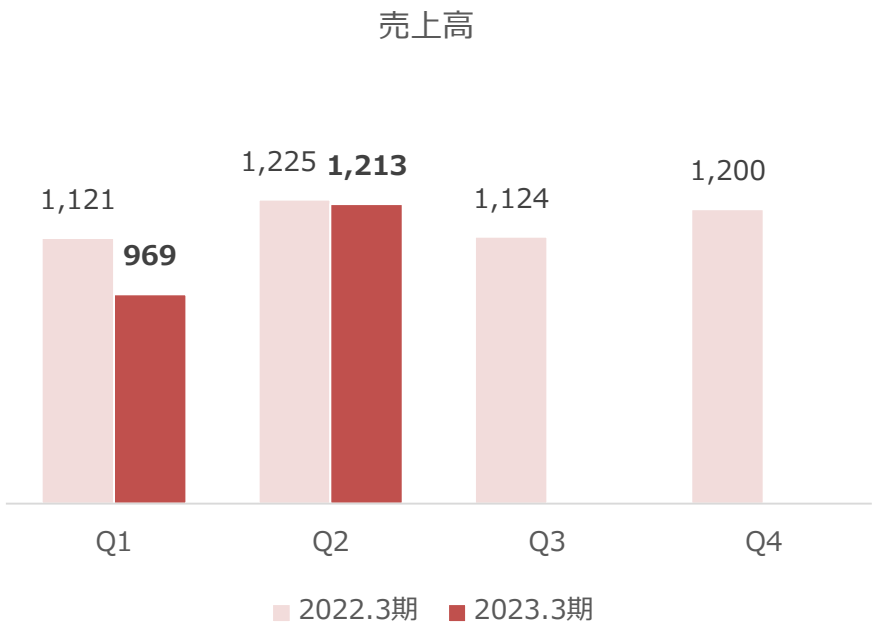
アグリソリューション：

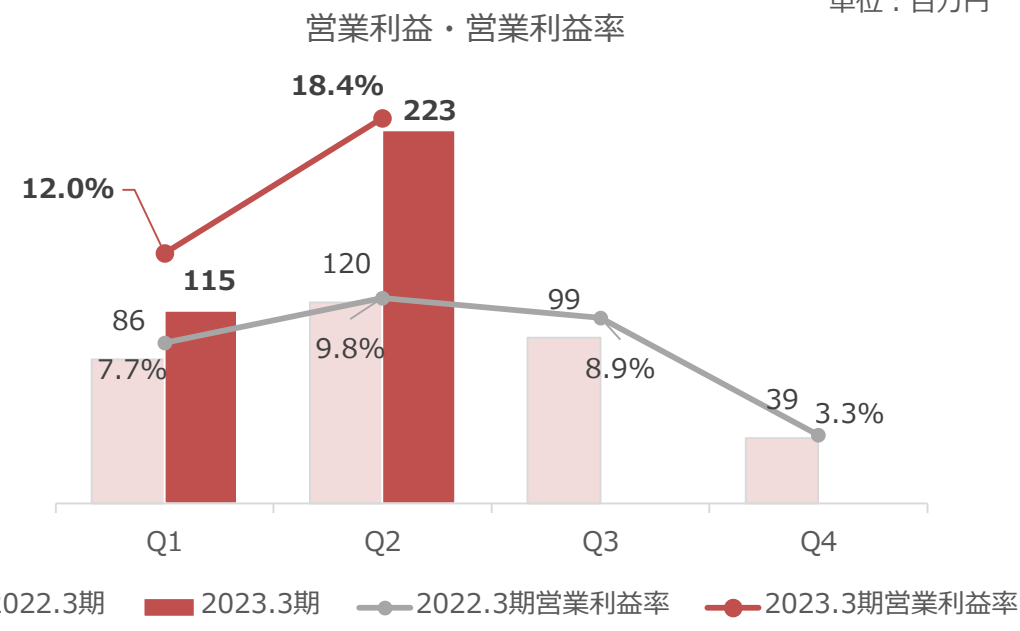
- エネルギーコスト上昇等により農業資材への投資意欲は低迷するも、輸入資材である土壌改良剤や農業用保温資材、遮光ネットが好調に推移

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

セグメント概況（ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾃｸﾉﾛｼﾞｰ事業）

単位：百万円





デコレーション＆ディスプレー（金属調加飾フィルムおよびPMMA/PC2層シートから名称変更）：

- 自動車向け金属調加飾フィルム販売においては、北米向け販売が売上を牽引。EVメーカーであるリビアンに続き、GMの高級車ブランド「キャデラック」初のEV車「リリック」のエンブレムと内装パーツへ採用され、今期から本格量産開始。両パーツともに金属調加飾フィルムの機能の１つである光透過が評価された。上海ロックダウンの影響を受けた中国および国内メーカー向け販売は徐々に回復を見込む。インド・東南アジアにおける二輪車向け販売は引き続き好調
- 自動車向け内装ディスプレー用途の高透明二層シートにおいては、先進運転支援システムの開発ツールとして期待されるVRヘッドセット用部材販売は好調に推移するも、自動車向け販売は上海ロックダウンの影響を受け前年同期比減。利益においては、下期に予定する一関工場移設に伴う工場稼働停止に備え備蓄生産を実施したことにより、前年同期比増加

その他：

- ディスプレー用拡散板は一昨年からの巣ごもり需要の反動減等を受け売上高は大幅に減少。これによりアドバンストテクノロジー事業の売上高は前年同期比減。ただし仕入れ販売のため利益への影響は些少

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

セグメント概況（ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾃｸﾉﾛｼﾞｰ事業）

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

■ **IATF16949（自動車産業に特化した品質マネジメントシステムの国際規格）認証取得完了**

多くの自動車メーカーが部品の調達基準として同規格を採用。認証取得により世界規模で部品調達をしている顧客への信頼度が向上

■ **自動車向け金属調加飾フィルムの生産能力を6割増産**

2022年中に、金属調加飾フィルムを製造する茨城県古河工場の生産能力を増強。月15万メートルから月25万メートルへ

■ **金属調加飾フィルムを利用した自動車向け部品生産能力を4割増産**

自動車部品を製造する名古屋工場の近隣に名古屋第二工場を新設（2022年9月に稼働開始）。古河工場で製造した金属調加飾フィルムを使用し、自動車向けプラスチック部品を製造。生産能力は月2万5千台分から3万5千台分へ

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

今後の見通し

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

- **売上高、営業利益、経常利益は7月29日に上方修正した業績予想を維持**
- **当期純利益は、第2四半期実績が7月29日公表の通期予想を上回ることを受け通期予想を上方修正**
- 上期において、保有資産売却に伴い過年度に計上した減損損失に係る将来減算一時差異について回収可能性があると判断し、法人税等調整額（益）および繰延税金資産69百万円を計上。通期業績予想へも反映

(単位：百万円)

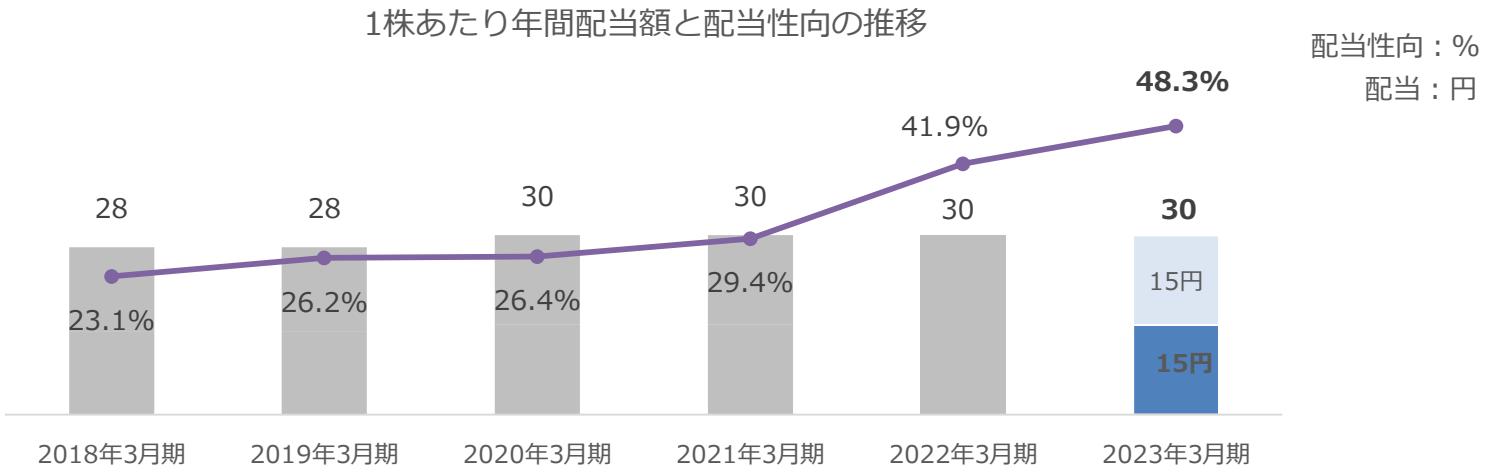
	第2四半期累計実績	7/29公表通期業績予想	進捗率	通期予想修正	増減比
売上高	11,427	24,400	46.8%	24,400	-
営業利益	448	590	76.0%	590	-
経常利益	655	710	92.3%	710	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,289	2,240	**102.2%**	2,310	+3.1%

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

株主還元

- 基本方針
  - 配当性向35%以上を目安に、単年度の業績ボラティリティに左右されない安定的な配当を維持

- 2023年3月期配当
  - 第２四半期末、期末それぞれ1株あたり15円（通期30円）
  - 配当性向は48.3%（クレアネイト（株）（旧（株）ウェーブロックインテリア）株式譲渡による影響を除いて算出）

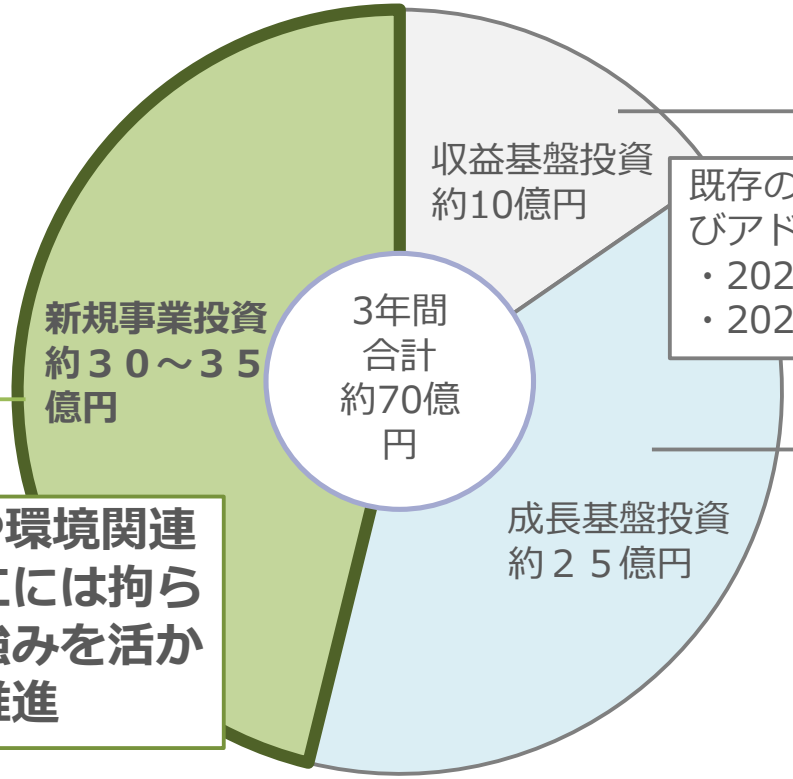


※　2020年3月期までの配当性向は負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向（負ののれんは2020年3月期に償却が終了）
※　2021年3月期および2023年3月期の配当性向はクレアネイト（株）（旧（株）ウェーブロックインテリア）株式譲渡による影響を除いて算出

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

新規事業投資計画について

- **2022年3月期から2024年3月期まで**の3年の間に約70億円の投資を予定
- そのうち**新規事業投資へは約30～35億円**の投資を計画



既存のマテリアルソリューション事業およびアドバンストテクノロジー事業への投資
・2022年3月期（実績）：約4.1億円
・2023年3月期（予定）：約24.7億円

ICTプラットフォームや環境関連製品事業など、樹脂加工には拘らず、既存事業の深化や強みを活かせる新規分野の探索を推進

※投資金額は事業供用開始時を基準に記載

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

新規事業投資計画について

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

新規
事業投資
約３０～
３５億円

1 既存事業である樹脂加工に近い分野で、
既存事業と接合する分野への投資
（例：当社が進出していない分野を手掛ける同業他社との提携等）

2 既存事業である樹脂加工の隣接分野で、
既存事業に付加価値を付与する分野への投資
（例：チームライク社への出資（2022年8月31日開示））

3 当社の強みを活かすことができる
新規分野への投資

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

APPENDIX

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

貸借対照表　増減状況

- **資産合計　25,974百万円**
- **自己資本比率　61.5%（前期末56.6%）**

(単位：百万円)

資産合計	+1,718	負債・純資産合計	+1,718
流動資産	+1,341	負債	△ 545
現預金	+782	営業負債	+117
営業債権	+57	有利子負債・社債	△ 1,572
棚卸資産	+809	未払法人税等	+691
その他	△ 307	その他	+218
固定資産	+377	純資産	+2,264
固定資産	+309	株主資本	+2,161
その他	+67	その他の包括利益他	+102

- （株）エイゼンコーポレーション連結によるのれん＋230、保険積立金＋225
- クレアネイト（株）（旧ウェーブロックインテリア）株式売却等による投資有価証券△361

- 当期純利益＋2,289
- 配当支払い△127

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

キャッシュ・フロー

■ **現金及び現金同等物　2,743百万円　（2022年3月期末より782百万円増加）**

(単位：百万円)

2023年3月期第2四半期	
税金等調整前当期純利益	3,036
減価償却費	293
減損損失	114
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 2,528
運転資本増減	△ 628
法人税等の支払額	△266
その他	753
営業キャッシュ・フロー	774
固定資産の収支	△ 557
投資有価証券の収支	2,608
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 349
その他	75
投資キャッシュ・フロー	1,777
フリーキャッシュ・フロー	2,552
借入金・社債の収支	△ 1,644
配当金の支払	△ 127
その他	△ 7
財務キャッシュ・フロー	△ 1,779

クレアネイト（株）（旧：（株）ウェーブロックインテリア）の株式譲渡

- クレアネイト（株）（旧：（株）ウェーブロックインテリア）の株式譲渡
- （株）チームライクへの出資

（株）エイゼンコーポレーション株式の取得

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

免責事項

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.